

～「子どもだけ大人」「大人だけ子ども」な人たちへのメッセージ～

LITTLE BIG

第49号 2011.10.5

発行:福島県立図書館 こどものへや

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218

kodomo@library.fks.ed.jp

<http://www.library.fks.ed.jp>



こどものへや・児童図書研究室の開いている時間が、10月より以下のように変わります。

平日・土日祝 : 9時30分～17時30分

なお、閉室後、本を返す方は総合案内・返却カウンターへ、調べ物がある方は調査相談カウンターへお願いします。

【**Pieces - かけうたち -**】本の中の言葉

手が少ししびれていた。よほど力を入れて握りを握っていたのだろう。けれど、

心地よいしびれだ。そのしびれは体の隅々にまでゆっくりと広がっている。^{しん}心は、それを包み込むようにそっと両手を握った。

『鉄のしぶきがはねる』(まはら三桃／著 講談社 2011年 p46)

「そうか、花か」

「まあ、なりゆきで始めたことだから」

父さんがビールを飲んで、ふはっと息をついた。

「達也はいつも計画的できちんとしてるからな。たまにはなりゆきもいいよ」

『園芸少年』(魚住直子／著 講談社 2009年 p63)

「何て光って素晴らしいのだろう！この光で形も色もわかる。部屋全体がこの光で支配される！」

こう強く思ったのが、私の出発点でした。

『光が照らす未来—照明デザインの仕事』<岩波ジュニア新書>(石井幹子／著 岩波書店 2010年 p202)

踊っているうちに僕はだんだん前の隣人に興味を覚えて来た、どうも様子がおかしいのだ。最初に気づいたのは手拍子の時だったが、細くてしなやかな指だった。次に、腕の動きがしなやかだ。黒のアルパカに白ズボンで…
(略)

「初恋」 尾崎翠／著 『中学生までに読んでおきたい日本文学⑥ 恋の物語』(松田哲夫／編 あすなろ書房 2011年 p52~53)

switch【スイッチ】

皆さんは、自分も想像していなかった思わぬことがきっかけで、いつの間にか夢中になったり、好きになったりしてしまったことってありませんか？…習い事、部活、趣味…恋愛！？

少し前、♪やる気スイッチどこにあるんだろう～♪というコマーシャルがありました。このやる気のスイッチ、実は意外と身边に、様々なところにあります！そして、後から考えてみると自分にとって大きな転換点だったりします。

実際に、スイッチ【switch】という言葉には「(電気の)スイッチ」という意味だけでなく、「転換、切り替え」といった意味もあります。

今回の【**Pieces - かけうたち -**】本の中の言葉では、思わずところでスイッチが入ってしまった瞬間を紹介しています。

実は、私も今回やる気のスイッチ、入ってしまいました。それは、『中学生までに読んでおきたい日本文学』(全10巻)シリーズ！このシリーズは“悪人の物語”、“いのちの話”、“おかしい話”…など10個のテーマに分けられているので、興味のある本だけを読むのもよし、目次を見て気に入った作品だけを読むのもよし！編者のあとがきから読むのもお薦めです。

「昔の日本文学ってなんだかとつづきづらい！」と思っているあなたもきっと楽しめると思います。

あなたもぜひ本の中で、日常生活で、やる気のスイッチを探してみよう！

本で広げよう！科学の世界



平成23年度、県立図書館では“福島県立図書館「読書」と「科学」プロジェクト事業（協力：ふくしまサイエンスぷらっとフォーム(spff)）”を行っています。このコーナーでも、「科学」に注目をして中学生、高校生の皆さんに「な～んだ、科学ってむずかしくないじゃ～ん！」と思ってもらえるような本を紹介していきます。

第1弾は、「形から迫る！！地球の姿」

今は誰もが知っている「地球は丸い」という事実。実は、地球の形、歴史について考えることも、科学の1つの分野です！そこで、今回は私たちの住む“地球”に関する本を集めました。中には、出版年が古い本もありますが、科学技術が発達した現在でも、世代を超えて読み継がれている本です。ぜひ、手にとってみてください♪



● 地球は本当に丸い？

書名	著者名	出版社	出版年	内容
『地球のかたちを哲学する』	ギヨーム・デュップラ／文・絵 博多かおる／訳	西村書店	2010年	地球ってまるい？それとも四角？…世界中の人々が地球の形についてどのように考えてきたのか、かけを楽しみながら知ることができる1冊です。
『地球は丸い？』	アイザック・アシモフ／著 竹内均／監訳	教育社	1982年	昔の人々が「地球は平らではない？」という疑問をきっかけに、「地球は丸い」という大発見に至った過程が詳しく描かれています。

● 地球が辿ってきた歴史

書名	著者名	出版社	出版年	内容
『せいめいのれきし』	バージニア・リー・バートン／文・絵 石井桃子／訳	岩波書店	1964年	地球が誕生し、大陸が移動し、生命が生まれ、文明がおこり、そして現在に至る…と、途切れることなく繋がっていく壮大な地球の生命の歴史を体感できます。

● 地球のことをもっと知りたい！そんなあなたに！

書名	著者名	出版社	出版年	内容
『地学のツボ 地球と宇宙の不思議をさぐる』	鎌田浩毅／著	筑摩書房	2009年	天気、地震、火山噴火…自然災害から自分の身を守るという意味で、地学は、一番日常生活に密着した教科だと言われます。受験対策にもいかが？
『地球の発明発見物語』	西村 寿雄／著	近代文藝社	2010年	人類がどのように地球の謎を解明していったのか？について物語風に紹介。この本であなたの地球に関する疑問も解決するかも！？
『地学 未知なる星テラ！』	サイモン・バシャー／絵 ダン・ギルピン／文 坂口美佳子／訳	玉川大学出版部	2011年	山、川、大陸、気象…などに扮したかわいいキャラクターたちが私たちの住む地球について分かりやすく解説してくれます。